

岡松麿谷 （まがら） 舊熊本藩儒。文政二年一月十四日豊後國大分郡高田村（熊本領）生れ、明治二十八年二月十八日歿（一八二〇—九五）。講辰、字吾盈、通稱辰五郎、辰五、伊助。帆足萬里に學ぶ。時習館寮生、藩中小姓班に列す。維新後昌平坂學所教授、大學少博士にたり大政官權少史に補せられると、辭して延岡、熊本等で教授。明治九年上京、私塾紹成書院を開き授業千人を數へた。東京大學教授、學士院會員。萬里在世の折蘭學を修め共學びと通じて西洋書數種を譯すゆけど、のち西洋一邊倒の風潮を嫌厭し西洋を語ることを絶ちしこと。法學者岡松參太郎の父。

著書に『初學文範』全三冊（明治十年一月—二十七日紹成書院藏、星野松藏發賣）、校定『地理概要』全一冊、附圖一冊（明治十四年五月奎文堂）他。

